令和６年第３回定例会

三　沢　市　議　会　会　議　録

第４号（令和６年９月１３日）

◎議事日程

（決算審査特別委員会審査報告）

第１　認定第１号　令和５年度三沢市一般会計歳入歳出決算認定について

第２　認定第２号　令和５年度三沢市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

第３　認定第３号　令和５年度三沢市食肉処理センター特別会計歳入歳出決算認定について

第４　認定第４号　令和５年度三沢市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について

第５　認定第５号　令和５年度三沢市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

第６　認定第６号　令和５年度三沢市水道事業会計決算認定について

第７　認定第７号　令和５年度三沢市下水道事業会計決算認定について

第８　認定第８号　令和５年度三沢市立三沢病院事業会計決算認定について

日程第１から日程第８までの議事

１．委員長の審査報告

２．委員長報告に対する質疑

３．討論

４．採決

（予算審査特別委員会審査報告）

第９　議案第50号　令和６年度三沢市一般会計補正予算（第２号）

第10　議案第51号　令和６年度三沢市国民健康保険特別会計補正予算（第１号）

第11　議案第52号　令和６年度三沢市後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）

日程第９から日程第１１までの議事

１．委員長の審査報告

２．委員長報告に対する質疑

３．討論

４．採決

（条例等審査特別委員会審査報告）

第12　議案第53号　三沢市地方活力向上地域に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例の制定について

第13　議案第54号　三沢市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について

第14　議案第55号　災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

第15　議案第56号　三沢市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

第16　議案第57号　財産の取得について

第17　議案第58号　財産の取得について

第18　議案第59号　財産の取得について

第19　議案第60号　財産の取得について

第20　議案第61号　青森県後期高齢者医療広域連合規約の変更について

第21　議案第62号　市道の路線の廃止について

第22　議案第63号　市道の路線の認定について

日程第１２から日程第２２までの議事

１．委員長の審査報告

２．委員長報告に対する質疑

３．討論

４．採決

第23　基地対策特別委員会中間報告

第24　学校等整備対策特別委員会中間報告

第25　総務文教常任委員会所管事務調査報告

第26　産業建設常任委員会所管事務調査報告

第27　民生常任委員会所管事務調査報告

第28　議員の派遣

◎本日の会議に付した事件

（決算審査特別委員会審査報告）

第１　認定第１号　令和５年度三沢市一般会計歳入歳出決算認定について

第２　認定第２号　令和５年度三沢市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

第３　認定第３号　令和５年度三沢市食肉処理センター特別会計歳入歳出決算認定について

第４　認定第４号　令和５年度三沢市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について

第５　認定第５号　令和５年度三沢市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

第６　認定第６号　令和５年度三沢市水道事業会計決算認定について

第７　認定第７号　令和５年度三沢市下水道事業会計決算認定について

第８　認定第８号　令和５年度三沢市立三沢病院事業会計決算認定について

日程第１から日程第８までの議事

１．委員長の審査報告

２．委員長報告に対する質疑

３．討論

４．採決

（予算審査特別委員会審査報告）

第９　議案第50号　令和６年度三沢市一般会計補正予算（第２号）

第10　議案第51号　令和６年度三沢市国民健康保険特別会計補正予算（第１号）

第11　議案第52号　令和６年度三沢市後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）

日程第９から日程第１１までの議事

１．委員長の審査報告

２．委員長報告に対する質疑

３．討論

４．採決

（条例等審査特別委員会審査報告）

第12　議案第53号　三沢市地方活力向上地域に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例の制定について

第13　議案第54号　三沢市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について

第14　議案第55号　災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

第15　議案第56号　三沢市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

第16　議案第57号　財産の取得について

第17　議案第58号　財産の取得について
第18　議案第59号　財産の取得について
第19　議案第60号　財産の取得について
第20　議案第61号　青森県後期高齢者医療広域連合規約の変更について
第21　議案第62号　市道の路線の廃止について
第22　議案第63号　市道の路線の認定について

日程第１２から日程第２２までの議事
１．委員長の審査報告
２．委員長報告に対する質疑
３．討論
４．採決

第23　基地対策特別委員会中間報告

第24　学校等整備対策特別委員会中間報告

第25　総務文教常任委員会所管事務調査報告

第26　産業建設常任委員会所管事務調査報告

第27　民生常任委員会所管事務調査報告

第28　議員の派遣

◎出席議員（１８名）

議長	１番	加澤　明　君
副議長	１０番	佐々木　卓　也　君
	２番	浅野　一　朗　君
	３番	小比類巻　大晃　君
	４番	久保田　隆　二　君
	５番	舩見　昌　功　君
	６番	小比類巻　孝幸　君
	７番	鈴木　重　正　君
	８番	遠藤　泰　子　君
	９番	下山　光　義　君
	１１番	奥本　菜保巳　君
	１２番	澤口　正　義　君
	１３番	瀬崎　雅　弘　君
	１４番	西村　盛　男　君
	１５番	春日　洋　子　君
	１６番	小比類巻　雅彦　君
	１７番	馬場　騎　一　君
	１８番	堤　喜一郎　君

◎説明のため出席した者（１５名）

市長	小檜山　吉　紀　君
副市長	米田　光一郎　君
総務部長	織笠　一　任　君
政策部長	田中　浩　君
財務部長	吉村　聖　毅　君
市民生活部長	田中　誠　君
健康福祉部長	大塚　勤　光　君
経済部長	坂岡　敏　行　君
建設部長	沼辺　慎　也　君
上下水道部長	角　貴　浩　君
総務部参事兼秘書課長	種市　俊　之　君
三沢病院事務局長	遠藤　恵　介　君
消防長	髙田　義　一　君
教育長	山内　康　之　君
教育部長	岡部　章　典　君

◎職務のため出席した職員

事務局長	長根　正　登　君
副参事兼次長	冨田　暁　史　君
議事総務係長	三上　雅　代　君
主査	中嶋　泰　史　君

午前１０時００分　開議

○議長（加澤　明君）　おはようございます。

出席議員は、定足数に達しておりますので、会議は成立いたします。

これより、本日の会議を開きます。

本日の議事は、タブレットに配信しております議事日程第４号をもって進めます。

◎日程第　１　認定第１号から
日程第　８　認定第８号まで

○議長（加澤　明君）　日程第１　認定第１号令和５年度三沢市一般会計歳入歳出決算認定についてから、日程第８　認定第８号令和５年度三沢市立三沢病院事業会計決算認定についてまでの計８件を一括議題とします。

決算審査の特別委員会審査報告書はタブレットに配信したとおりです。

委員長、補足して報告する事項はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（加澤　明君）　ただいまの委員長報告に対し、質疑を行いますが、通告がありませんので、質疑を終結します。

次に討論を行います。

なお、認定第１号に対する討論の通告がありますので、発言を許します。

奥本菜保巳議員。

○１１番（奥本菜保巳君）　私は、認定第１号令和５年度三沢市一般会計歳入歳出決算認定について、一部反対の立場で討論いたします。

令和５年度の決算状況については、実質収支額は８億９，４２３万８，０００円の黒字決算となっております。健全化判断比率においても、実質公債費比率が９．３％、将来負担比率が５８．８％となり、全ての指標において早期健全基準を下回り、引き続き健全性の維持が図られています。

また、自治体の貯金を表す財政調整基金は、一般的に標準財政規模の１０％程度が適正となっております。当市の標準財政規模は約１０８億円ですから、一般的には１１億円となります。当市は１９億７，１３６万３，０００円となっており、１８％程度を維持しています。貯金はいざというときのために使われるべきものです。財政調整基金は、財源に余裕のある年度に積み立てを行い、大規模災害や大幅な税収の減少など、不測の事態に備えて取り崩す積立金としているのが一般的です。財政的に厳しい自治体は貯金を積み立てる余裕がないわけですから、大体１０％程度にしています。当市は１８％ですから、災害にも匹敵するコロナ禍、円安による物価高騰に対して、時限的でも市独自の支援策に取り組めるだけの財政力はありました。

さて、令和５年度は新型コロナウイルス感染症の長期化により、経済と市民生活への影響が残る中、さらに物価高騰も長引き、事業者と市民生活に追い打ちをかけていました。しかし、新型コロナウイルス感染症対策及び物価高騰に対する支援策とその財源は、主に国・県頼みであり、当市独自の支援策という点では、地域経済の実態と困窮する市民の生活状況の把握が希薄で、その対応は十分とは言えませんでした。

また、大型公共施設の大規模改修費や維持管理費に財政が圧迫され、財政は厳しいという固定概念にとらわれ、危険な設置物の撤去や改修が後回しとなり、事故を発生させる要因の一つとなったのではないでしょうか。

また、さらなる住民サービスの向上や課題解決に係る取組への意欲が感じられません。

職員の意識改革と研鑽が必要です。そのために、職員の先進自治体への積極的な派遣が必要だと思います。今後増えていく定年による退職者再任用の職務の在り方も改善策が必要だと思います。

次に、財源の使い道を見直すことが必要であると思います。

よって、抜本的な施策改革及び行政組織改革が必要であると考えます。

以上の観点から、私は、令和５年度三沢市一般会計歳入歳出決算認定に対し、一部反対

を表明いたします。

○議長（加澤　明君）　次に、舩見昌功議員。

○５番（舩見昌功君）　私は、認定第１号令和５年度三沢市一般会計歳入歳出決算認定について、賛成の立場で討論いたします。

現在、当市の財政を取り巻く環境は、少子高齢化に伴う社会保障施策に要する経費の増加に加え、物価高騰などによる各種経費の増加が見込まれるなど、ますます厳しい状況下に置かれております。

そのような中、令和５年度の一般会計の決算状況を見ますと、実質収支額は８億９，４２３万８，０００円の黒字となり、また財政の健全性を示す健全化判断比率につきましても、全ての指標において早期健全化基準を下回りましたことは、市当局において健全な財政運営に努めてこられた結果であります。

当該決算の内容は、市民生活に密着した生活基盤や施設の整備などに加え、物価高騰への対応として、市民に対しての物価高騰生活支援プレミアム券事業費補助金や水道料金負担軽減事業、また、農業者や漁業者、さらに社会福祉施設や教育・保育施設などに物価高騰対策支援金を給付するなど支援策を実施しており、市民生活の維持・向上に配慮しつつ、必要性・緊急性を考慮した予算執行がなされております。

今後におきましては、引き続き、物価高騰などの影響を考慮しながら、持続可能な地域づくりに向け、様々な課題に対する取組を進めていくため、より堅実に、より的確な財政運営を期待いたします。

以上のことから、令和５年度三沢市一般会計歳入歳出決算は、限られた予算の中において市民福祉の向上を図り、三沢市政発展のために必要不可欠な事業の予算執行が適切になされた結果であると判断し、その認定について賛成するものであります。

以上でございます。

○議長（加澤　明君）　以上で討論を終結します。

これより、採決します。

認定第１号を除く認定第２号から認定第８号までの７議案は、委員長報告のとおり決することに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（加澤　明君）　御異議なしと認めます。

よって、認定第２号令和５年度三沢市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について、認定。認定第３号令和５年度三沢市食肉処理センター特別会計歳入歳出決算認定について、認定。認定第４号令和５年度三沢市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について、認定。認定第５号令和５年度三沢市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について、認定。認定第６号令和５年度三沢市水道事業会計決算認定について、認定。認定第７号令和５年度三沢市下水道事業会計決算認定について、認定。認定第８号令和５年度三沢市立三沢病院事業会計決算認定について、認定とそれぞれ決しました。

次に、認定第１号令和５年度三沢市一般会計歳入歳出決算認定についてを採決します。

本案に対する委員長報告は認定です。

本案は委員長報告のとおり、決することに賛成の方の起立を求めます。

（賛成者起立）

○議長（加澤　明君）　起立多数です。

よって認定第１号令和５年度三沢市一般会計歳入歳出決算認定については、認定と決しました。

◎日程第　９　議案第５０号から
日程第１１　議案第５２号まで

○議長（加澤　明君）　日程第９　議案第５０号令和６年度三沢市一般会計補正予算（第２号）から、日程第１１　議案第５２号令和６年度三沢市後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）までの計３件を一括議題といたします。

予算審査特別委員会の審査報告書は、タブレットに配信したとおりです。

委員長、補足して報告する事項はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（加澤　明君）　ただいまの委員長報告に対し、質疑を行いますが、通告がありませんので質疑を終結します。

次に討論を行いますが、通告がありませんので討論を終結します。

これより、採決します。

議案第５０号から議案第５２号までの３議案は、委員長報告のとおり決することに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（加澤　明君）　御異議なしと認めます。

よって、議案第５０号令和６年度三沢市一般会計補正予算（第２号）、可決。議案第５１号令和６年度三沢市国民健康保険特別会計補正予算（第１号）、可決。議案第５２号令和６年度三沢市後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）、可決とそれぞれ決しました。

◎日程第１２　議案第５３号から
日程第２２　議案第６３号まで

○議長（加澤　明君）　日程第１２　議案第５３号三沢市地方活力向上地域に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例の制定についてから、日程第２２　議案第６３号市道の路線の認定についてまでの計１１件を一括議題とします。

条例等審査特別委員会の審査報告書は、タブレットに配信したとおりです。

委員長、補足して報告する事項はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（加澤　明君）　ただいまの委員長報告に対し、質疑を行いますが、通告がありませんので、質疑を終結します。

次に、討論を行いますが、通告がありませんので、討論を終結します。

これより、採決します。

議案第５３号から議案第６３号までの１１議案は、委員長報告のとおり決することに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（加澤　明君）　御異議なしと認めます。

よって、議案第５３号三沢市地方活力向上地域に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例の制定について、可決。議案第５４号三沢市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について、可決。議案第５５号災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について、可決。議案第５６号三沢市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について、可決。議案第５７号財産の取得について、可決。議案第５８号財産の取得について、可決。議案第５９号財産の取得について、可決。議案第６０号財産の取得について、可決。議案第６１号青森県後期高齢者医療広域連合規約の変更について、可決。議案第６２号市道の路線の廃止について、可決。議案第６３号市道の路線の認定について、可決とそれぞれ決しました。

◎日程第２３　基地対策特別委員会
中間報告

○議長（加澤　明君）　日程第２３　基地対策特別委員会中間報告を議題とします。

小比類巻雅彦委員長。

○１６番（小比類巻雅彦君）　本委員会において審査中の事件について、三沢市議会会議規則第４５条第２項の規定に基づき、中間報告をいたします。

本委員会では、さきの会議で決定した今年度における三沢基地周辺対策に関する７項目の要望事項について、７月１６日に東北防衛局及び県選出国会議員へ、翌１７日には防衛省に対し本市の実情を強く訴え、各要望事項の早期実現を求め要望行動を実施いたしました。要望事項に対し、防衛省からは岡三沢五・六丁目地区の移転について、現在行われ

ている第一種区域等の見直しのための騒音度調査を引き続き実施し、調査終了後には住民の皆様に丁寧に説明した上で区域の見直しを進め、適切に対応していくことや、訓練飛行における航空機騒音について、周辺住民の日常生活に与える影響を最小限とするよう米軍・自衛隊双方に引き続き申し入れていくことなどの回答がありました。

また、要望事項ではございませんが、去る７月５日に防衛省から説明を受けた米軍三沢基地第３５戦闘航空団のＦ－１６戦闘機がＦ－３５Ａ戦闘機へ機種更新されることについて、新しい情報を求めたところ、７月１７日時点では配備開始時期など明示できる情報はないとのことでした。

これについて、騒音問題などによる市民の不安が大きくなっていることを伝え、米軍からの情報は速やかに提供していただきたいと強く訴えてまいりました。

次に、７月に発生した三沢基地所属の米軍人が飲酒した状態で運転し、市民所有の車庫に衝突し炎上、３人の死傷者が出た事故について、８月２１日に市と市議会の連名で、米軍及び東北防衛局に対し、このような悲惨な事故が二度と起こらないよう綱紀粛正等の徹底を要請してまいりました。

米軍三沢基地司令官からは、米軍人、軍属に対し綱紀粛正等の教育の再徹底を図るとともに、被害を受けた車庫や車への保障などについて真摯に対応していきたいとの回答がありました。

本委員会としては、引き続き積極的に委員会活動を継続してまいりたいと考えております。

以上、引き続き閉会中の継続審査とすることを申し添え、基地対策特別委員会の中間報告といたします。

○議長（加澤　明君）　これより、質疑を行います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（加澤　明君）　ないようですので、質疑を終結いたします。

お諮りします。

この報告は、委員長報告のとおり、引き続き閉会中の継続審査にしたいと思います。

これに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（加澤　明君）　御異議なしと認めます。

よって、基地対策特別委員会については、引き続き閉会中の継続審査とします。

◎日程第２４　学校等整備対策特別委員会中間報告

○議長（加澤　明君）　日程第２４　学校等整備対策特別委員会中間報告を議題とします。

瀬崎雅弘委員長。

○１３番（瀬崎雅弘君）　三沢市議会会議規則第４５条第２項の規定に基づき、学校等整備対策特別委員会の中間報告をいたします。

去る８月５日に開催いたしました委員会では、学校教育系施設についてを案件として調査、審議を行いました。

初めに、市教育委員会から市内小学校及び中学校校舎等の建物概要や今後の児童生徒数の推移予測などについて説明があり、それらを踏まえた施設整備の基本的な方針が示されました。

三沢市学校施設長寿命化計画に基づく長寿命化改修の実施時期は築４０年とされていますが、これを基準にすると、小学校７校のうち４校、中学校５校のうち２校が既に築４０年を経過しているため、各校の老朽化の状況を見極めながら、可能な限り速やかに適切な対応をしていく必要があります。

また、望ましい学校の規模については、三沢市学校規模適正化基本方針に沿いつつ、少子化による児童生徒数の減少や集団移転事業等による地区別人口の変化も視野に入れながら、地域の方々への丁寧な説明と充分な対話をもって設定しなければなりません。

そうした視点から、特に老朽化が著しい学校の一つである第五中学校学区においては、

今後の第五中学校のあるべき姿について、幅広く意見を聴取すべく、今年度以降、複数回にわたる地域懇談会の実施を計画しているとのことです。

同じく、老朽化の著しい第一中学校では、今年度、建て替えに係る基本設計に着手しておりますが、委員からは、適正な学校の規模について、しっかり検討し、事業を進めるよう意見が出されました。

近年の物価高騰の影響から建設関連費用も値上がりしている中、限られた財源で複数の学校施設の改修や建て替えを進めていくことは非常に困難ではありますが、適用可能な補助金の活用や交付税措置の対象となる起債などにより、できる限り市の財政負担の軽減を図るとともに、地域の将来を担う児童生徒が不自由なく学校生活を送ることができ、毎日通学することが楽しくなるような教育環境の実現を期待するところであります。

なお、委員会終了後、木崎野小学校及び第五中学校において、当委員会委員による施設見学を実施し、学校施設の老朽化の現状を確認してまいりました。

今後におきましても、三沢市公共施設等総合管理計画を基礎資料として、施設類型ごとに公共施設の調査・審議を行ってまいります。

以上、引き続き閉会中の継続審査とすることを申し添え、学校等整備対策特別委員会の中間報告といたします

○議長（加澤　明君）　これより、質疑を行います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（加澤　明君）　ないようですので、質疑を終結します。

お諮りします。

この報告は、委員長報告のとおり、引き続き閉会中の継続審査にしたいと思います。これに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（加澤　明君）　御異議なしと認めます。

よって、学校等整備対策特別委員会については、引き続き閉会中の継続審査とします。

◎日程第２５　総務文教常任委員会所管事務調査報告

○議長（加澤　明君）　日程第２５　総務文教常任委員会所管事務調査報告を議題とします。

下山光義委員長。

○９番（下山光義君）　去る８月２１日に開催いたしました総務文教常任委員会所管事務調査の内容について、三沢市議会会議規則第１０３条の規定に基づき、御報告申し上げます。

今回の会議では、政策部所管の三沢空港利用促進について案件として所管事務調査を行いました。

初めに、政策部より羽田発着枠政策コンテストによる羽田便４便運航の期間は令和７年３月２９日までとされているが、その後も４便定着に向けて関係機関との協力体制を継続していくことや、駐車場が慢性的に不足する状況を改善するために、新たに（仮称）第３駐車場を整備することなどについて説明がありました。

三沢空港の利用者数は、前年度、前々年度と２年連続して３０万人を超えるなど、好調を保っていることから、次回の羽田発着枠政策コンテストの実施は未定であるとしながらも、市ではより一層の利用促進に向け、羽田空港での乗り継ぎを利用した西日本との交流拡大や三沢空港の周辺環境整備などを重点的に取り組むこととしています。

また、三沢空港の駐車場は、繁忙期には国の第１駐車場、市の第２駐車場とも満車となり、これらのほかに臨時駐車場を設置して対応している状況であるため、（仮称）第３駐車場を整備することとし、令和６年度に実施設計と支障木伐採を行い、令和７年度に工事着手する予定であるとの計画が示されました。

これに対し、委員からは、駐車場に関して

は第２駐車場の照明施設が少ないことなど、ほかにも改善が必要な点があるため、これらを放置せず解決に努めてほしいとの意見や、三沢空港の魅力を高めるため、空港ターミナルビルの老朽化対策の必要性を指摘する声があり、執行部からは今後の状況を見ながら対応していきたいとの回答がありました。

三沢空港は、ビジネス利用の客層が多いことから、そうした強みはさらに強化し、それ以外の客層にも幅広く利用が拡大されるよう、チャーター便企画の展開などにより新規利用者の開拓に努めていただき、今後における利用者の増加状況に合わせて、駐車場を含めた周辺環境の整備を行うことで、より多くの方々に御満足いただける三沢空港となることを期待いたします。

今後におきましても、当局の取組を注視し、必要に応じて調査や提言を行ってまいりたいと考えております。

以上、総務文教常任委員会の所管事務調査報告といたします。

○議長（加澤　明君）　これより、質疑を行います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（加澤　明君）　ないようですので、質疑を終結します。

総務文教常任委員会の所管事務調査については、委員長報告のとおり、御了承願います。

◎日程第２６　産業建設常任委員会所管事務調査報告

○議長（加澤　明君）　日程第２６　産業建設常任委員会所管事務調査報告を議題とします。

舩見昌功委員長。

○５番（舩見昌功君）　去る６月２５日に開催いたしました産業建設常任委員会所管事務調査の内容について、三沢市議会会議規則第１０３条の規定に基づき、御報告申し上げます。

今回の会議では農地中間管理事業及び地域計画についてと農地の非農地判定について及び千葉ロッテマリーンズ冠協賛試合事業についての３件について所管事務調査を行いました。

初めに、農地中間管理事業及び地域計画についてでは、農地中間管理機構、いわゆる農地バンクについて、税制の優遇措置が受けられることや農地の集約化のサポートとなることなど多くのメリットがあることが説明されました。また、将来の農地利用の姿を明確化する地域計画が今後策定、公表されていくことも示されました。

これに対し、委員からは、農地バンクはメリットの多い事業なので市民への周知を充実させてほしい、地域計画による土地の集積化は一つの手段として重要であるといった意見が出されました。

次に、農地の非農地判定についてでは、判定実績が示されるとともに、今後は地域計画により農地エリアが最適化され、非農地として判定される遊休農地は減少していく見込みであることが説明されました。

これに対し、委員からは第一次産業従事者を後押しするためにしっかりとした対応をしてほしい、市の農業事情を分析し、地域にあった農業振興ビジョンが必要であるとの意見が出されました。

最後に、千葉ロッテマリーンズ冠協賛試合事業についてでは、８月１日、当市出身の種市篤暉投手が所属する千葉ロッテマリーンズの本拠地ＺＯＺＯマリンスタジアムでの試合会場にて行われた当市の総合的なシティープロモーションの概要について説明があり、委員からは、シティープロモーションの目的をしっかり意識するべきである、市を知ってもらうために単年度ではなく事業を継続してほしいとの意見が出されました。

今回、３件についての所管事務調査を実施し、農業人口の減少など、時代の変化やニーズに合わせた農業施策を整備することで、当市の将来の農業を守ることにつながること、また、シティープロモーションに関しては、

当市は様々な魅力にあふれており、それらを効果的にアピールできるよう取り組むことは非常に重要であると再認識いたしました。

今後におきましても、当局の取組を注視し、必要に応じ、調査や提言を行ってまいりたいと考えております。

以上、産業建設常任委員会所管事務調査報告といたします。

○議長（加澤　明君）　これより、質疑を行います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（加澤　明君）　ないようですので、質疑を終結します。

産業建設常任委員会の所管事務調査については、委員長報告のとおり、御了承願います。

◎日程第２７　民生常任委員会所管事務調査報告

○議長（加澤　明君）　日程第２７　民生常任委員会所管事務調査報告を議題とします。

遠藤泰子委員長。

○８番（遠藤泰子君）　去る７月２４日に開催いたしました民生常任委員会所管事務調査の内容について、三沢市議会会議規則第１０３条の規定に基づき、御報告申し上げます。

今回の会議では、介護福祉課所管の敬老会式典についてと生活福祉課所管の三沢市の生活保護の実施状況について、こども未来課所管の三沢市こども計画策定に向けた調査検討状況について案件として調査いたしました。

まず、敬老会式典についてでは、今後の敬老会の在り方を検討する目的で、今年参加対象の市民およそ５，０００人に行ったアンケート調査についての説明がありました。

調査の結果、回答者の８６％が敬老会に参加したいと思わないと答え、また、予算をほかに回してほしい、子供たちの役に立ててほしいといった意見もあったことから、敬老会は式典としての開催は今年度で終了し、以降は健康測定会などの敬老イベントという形で継続していくとの報告がありました。

次に、三沢市の生活保護の実施状況についてでは、生活保護の制度の概要、過去５年間の生活保護実施状況やその推移、また、県内１０市の比較等について説明があり、委員からは、生活保護の制度を知らず生活に困窮している人がいるため、もっと周知をしてほしいとの要望があり、今後も関係機関との連携を図り、相談につなげていくとの回答がありました。

最後に、三沢市こども計画策定に向けた調査検討状況についてでは、これまでに実施した子供・子育てに関するニーズ調査を含む各種調査や、三沢市こども計画の策定スケジュールなどについて説明があり、委員からの三沢市こども計画は他自治体とどのように差別化を図っていくのかとの質問に対し、今後庁内で十分協議し、関係機関からも意見を頂いた上で取りまとめていきたいとの回答がありました。

当委員会では、三沢市民の福祉向上のため、今後におきましても当局の取組を注視し、必要に応じて調査や提言を行ってまいりたいと考えております。

以上、民生常任委員会の所管事務調査報告といたします

○議長（加澤　明君）　これより、質疑を行います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（加澤　明君）　ないようですので、質疑を終結します。

民生常任委員会の所管事務調査については、委員長報告のとおり、御了承願います。

◎日程第２８　議員の派遣

○議長（加澤　明君）　日程第２８　議員の派遣を議題とします。

詳細につきましては、タブレットに配信したとおりです。

お諮りします。

地方自治法第１００条第１３項及び三沢市議会会議規則第１６０条の規定により、議員を派遣することに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（加澤　明君）　御異議なしと認めます。

よって、議員を派遣することに決しました。

○議長（加澤　明君）　以上で、本定例会に付議された事件は、全て議了いたしました。

◎市長挨拶

○議長（加澤　明君）　ここで、市長より発言の申し出がありますので、この際、発言を許します。

市長。

○市長（小檜山吉紀君）　おはようございます。

令和６年三沢市議会第３回定例会の閉会に当たり、議長のお許しを得まして、一言、御挨拶を申し上げます。

昨夜から今朝等の報道などで御承知のことと存じますが、昨日、悲願でありました誘致企業のプレステージインターナショナル株式会社様と青森ＢＰＯ三沢ブランチ開設に係る基本協定の締結をいたしました。

この会社は東京に本社があり、現在、秋田、山形、岩手、そしてこのたびは青森と、５，０００名規模で事業を展開している会社であります。三沢市では、当初１００名程度から出発し、社会情勢が許せば、働く人があれば、最終的には５００名まで雇用可能の労働環境にあると申しておりました。

これまで御尽力を賜りましたプレステージ様、そして青森県の関係部局、三沢市の関係部局、そして何よりもここにいらっしゃる市議会議員の皆様には後押しをしていただきました。厚く御礼を申し上げます。大変ありがとうございました。

さて、今定例会は去る９月２日に開会され、本日まで１２日間にわたり、令和５年度三沢市一般会計及び特別会計並びに企業会計の決算認定をはじめ、令和６年度三沢市一般会計補正予算（第２号）のほか、行政運営上必要な条例の制定等を含め、全２２の案件について、慎重なる御審議を賜り、それぞれ原案どおり、御議決、御認定を賜りまして、衷心より感謝を申し上げます。

御議決を賜りました各議案の執行に当たりましては、御審議の過程におきまして、議員各位から賜りました御意見、御提言等を十分尊重し、最善の効果を収めるよう努力を傾注してまいりますので、何卒一層の御支援、御協力をお願い申し上げまして、閉会の挨拶とさせていただきます。

大変ありがとうございました。

○議長（加澤　明君）　これをもちまして、令和６年三沢市議会第３回定例会を閉会します。

御苦労さまです。

午前１０時４０分　閉会

地方自治法第１２３条第２項の規定により、ここに署名する。

令和　　年　　月　　日

三沢市議会議長　　加　澤　　明

三沢市議会副議長　　佐々木　卓　也

会議録署名議員　　久保田　隆　二

会議録署名議員　　小比類巻　雅　彦